【ロシア】

3-4 月の市場動向トピックス

- 2020 年 3 月の訪日ロシア人数は、前年同月比 52.1%減の 5,600 人で、2011 年以降最も減少。
- 2020 年 4 月の訪日ロシア人数は、前年同月比 99.9%減の 20 人で、過去最大の減少。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、3 月 20 日以降、ロシアにおいて外国への渡航禁止要請、主要都市における外出禁止措置等が発令されたこと等もあり、訪日者数は前年同月を大幅に下回った。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、4 月 3 日以降、日本における検疫強化、査証の無効化等の対象となったこと等もあり、訪日者数は前年同月を大幅に下回った。

3-4 月の主なプロモーション活動

✷ 3 月にロシア極東地域の2大都市ウラジオストク(3 月 5 日)及びハバロフスク(3月6日)にて、日本の地方紹介セミナーを開催した。現地の旅行会社及びメディアを対象にし、北海道、東北、関西地方のプレゼンテーションを行った。両都市で合計 107 名が参加した。

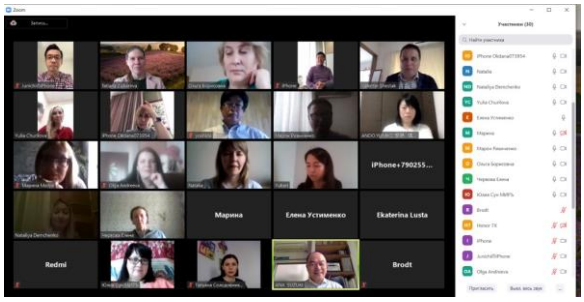
ウラジオストクセミナーの様子

ハバロフスクセミナーの様子

セミナーに関する現地報道(ニュース)

✷ 4 月 29 日、モスクワにて韓国政府観光局(KTO)と連携したウェビナーを実施した。B to B オンラインプラットフォーム「Sletat.ru」を利用し、冒頭で日本のコロナウイルス感染拡大状況について簡単に説明した後、訪日観光に関する基本情報(四季、ビザの取得、航空便、日本国内の交通等)及び各地方の観光情報を提供し、チャットボックスに寄せられた質問についても適宜回答した。視聴者は、欧州ロシアの複数都市から 100 社以上、合計 107 名となった。

✷ 4 月 28 日ロシア極東地域の旅行代理店を対象にしたウェビナー・意見交換会を実施した。
ウラジオストク、ハバロフスク、イルクーツク、サハリンから 42 名(31 社)が参加した。
日本側から JNTO、航空会社(JL、ANA)が参加し、それぞれプレゼンテーションをした。ウェビナーは好評で GW(ロシアも連休)あけに再度開催の要望があった。


極東ウェビナーの様子(Zoom)

ANA ウラジオストク支店のプレゼン資料